

事業所名

たすきっず しおみ

## 支援プログラム

作成日

R7 年

2 月

22 日

法人（事業所）理念		様々なつながり（縁）を大切に、その人らしい人生を歩む支援 愛の溢れる環境の中“かけがえのない存在”として輝ける支援を行います。たくさんの人との関わりや様々な人生経験は、人が成長していく過程で本人の力を最大限に引き出す機会になり、「自分らしい人生を歩む」ことに繋がる。【座学ではない実体験からの学び】を大切に、将来に向けた経験値の積み重ねを行なう。		
支援方針		<p>★将来へ向けたチャレンジの場★ 「つながる心」を育む 子どものころから「家族」や「友人」・「身近な人」等に愛され、多くの人と関わる経験をすることで、自己肯定感が生まれるとともに、周囲の人々との”つながり”の大切さに気付き、相手のことを思いやる気持ちが育っていきます。</p> <p>「生きぬく力」を育む 子どもたちが自分の将来に夢と希望を持ち、それを実現するために様々なことに挑戦する中で、自分自身を考える経験をする。そのことが、子どもたちが大人になったとき、社会を「生きぬく力」になります。 子どもたちが健やかな毎日を過ごすことができるとともに、一人ひとりが「その人らしい人生」を送ることができるように支援していきます。</p>		
営業時間		授業終了後： 13 時 00 分から 18 時 00 分まで 学校休業日： 9 時 30 分から 17 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	食事や排せつ、衣類の着脱（身だしなみや季節感のある服装を含む）など健康的な生活を送るための支援を行います。健康状態をご家庭や学校と連絡を取り合い、睡眠・食事・排せつ等の状況を把握し、顔色や服装・メンタル面等の小さなサインを見逃さないように観察する。個々の発達段階や生活環境を鑑み、食事への配慮や清潔にすることの大切さ等の基本的な生活スキルの向上を目指します。又、調理実習を通して食育を図っていく。		
	運動・感覚	運動機能・バランス感覚・力の強弱・距離感・様々な体の感覚・感触に触れ、感覚の成長を支援します。様々なプログラムを用いて、粗大運動と微細運動の両方を支援できる環境を整えております。活動内容に応じて、公園や体育館等を利用して運動療育を行い、基礎体力の向上及び筋力の維持・強化を図ります。又、リズム遊びや工作、折り紙などを用いて、視覚・聴覚及び触覚に関する支援も行います。		
	認知・行動	活動や取組に対して、工程表やスケジュール表をもって視覚的な技法を用いて、本児に入ってくる情報を適切に処理できるように支援します。また、時計の読み取りを通じて集団生活における時間管理に関する支援を行います。《考える》《判断する》《行動する》といった、認知から行動までの一連の動作に関する支援を行い、自己選択・自己決定が出来るように、個々に合わせた支援内容を行います。		
	言語コミュニケーション	言葉や文字（読み書き・文字盤）を用いて、自分の考えや思いを言語で表出できる（伝えられる）よう支援します。言葉のほか、指差し、身振りサイン、絵カードなどを用いて意思表出のための支援を行います。また、不適切な言葉や表現方法に対しては、人や場面に応じた適切な取扱いが出来るよう、本児が理解できる方法で時間をかけて支援します。みんなが笑顔になれる表現方法や気持ちの伝え方の獲得を目指します。		
	人間関係社会性	ソーシャルスキルの習得を目指し、「楽しい」「またやりたい」と感じる体験を積み重ねていけるように支援を行います。集団での活動やお友達との関わりを通して実践的に学び身につけます。将来に向けた準備として、「挨拶」「ルール」「マナー」「礼儀」「感謝」「謝罪」など社会生活で活躍するスキル習得を図ります。又、集団で発生する様々な人間関係において、相手や自分も大切にしたい行動を選択できるように、一緒に考えます。		
家族支援	子育てに対する不安や将来に対する不安等を、送迎時や個別面談・連絡帳などを通し、今までの経験則や情報からの見立て等を提案・助言していく。ご家族にとって安心して子育てをしやすい情報を伝えていく。	移行支援	学校や他事業所への情報提供及び情報収集・役割分担について協議していく。各関係機関からの情報に基づき、具体的な場面での関わり方の提案や関わり方のポイントを共有していく。	
地域支援・地域連携	活動の中で地域住民の方々との関わりや地域施設の利用を通し、地域において様々な人や場所がある事を本児に伝えていく。様々な場所を経験する事で、顔見知りの方達を増やし、次回利用する際の気持ちのハードルを下げていく。	職員の質の向上	定期的に各種研修を実施し、各職員の知識向上や各種法令への理解促進を図る。又、Sリンクシステム（独自システム）を活用し、各職員のスキルアップを図っていく。	
主な行事等	毎月のプログラムカレンダーにて活動内容を記載（主要7プログラム「SST」「コミュニケーション」「運動」「作業」「アカデミック」「リラクゼーション」「イベント」を組み合わせ実施） 季節ごとのイベントも実施（新年会・お花見・運動フェス・夏祭り・ハロウィン・クリスマス・望年会・家族参加型イベントなど） その他：避難訓練など			